

第2章

実践してみました



1.ごみの分別について学ぼう

教室名 : あいち国際プラザにほん語教室
教室開催日 : 土曜日 10:30~12:00
学習者の国籍 : ベトナム、中国、タイ、フィリピン等
レベル : 入門から初級・中級・上級

参加学習者 : 23名 (中国8名、ベトナム5名、台湾、韓国、フィリピン、タイ、アメリカ、イギリス、ジンバブエ、メキシコ、カナダ、コロンビア、各1名)

ボランティア : 11名

外部協力者 : 1名 (名古屋市環境学習センター <エコパルなごや> 環境教育統括担当)

学習者の状況

- 名古屋市または近郊在住で、ごみの分別は複雑。
- 家族に任せていて、経験や関心がない人もいる。

学習者の声

- ごみの分別はむずかしい。
- 袋の違いがわからない。
- 「リサイクル」って何ですか？

目標

ごみの分別を理解し、地域のルールに従ったごみの出し方が実践できる。

活動の流れ

1日目: 10月15日(土) 10:30~12:00 (90分)		
活動1	10分	「ごみの分別」に関心を持つ
活動2	40分	地域による違いや経験を話す
活動3	20分	写真を見て、ごみの話をする
確認1	20分	ふりかえりと次回の説明
2日目: 10月22日(土) 10:30~12:15 (105分)		
活動4	50分	目的地まで移動する
活動5	30分	専門家の話を聞く
確認2	25分	ふりかえり
3日目: 10月29日(土) 10:30~12:00 (90分)		
活動6	30分	1・2回目の活動をふりかえる
活動7	20分	「ごみの分別」をやってみる
活動8	20分	分別に関するクイズで確認する
確認3	20分	ふりかえり

事前の準備・下調べ

- 名古屋市環境学習センターに見学受入を依頼し、打合せの為に数回出向く。
- 町内のごみの集積場や掲示板、リサイクルボックスの写真を撮って教材を作成する。
- 分別ゲームやクイズの教材を作成する。
- 生活情報パンフレット「なごやの資源・ごみ分別ガイド」(8ヶ国語対応)を取り寄せる。
- 「家庭での分別区分早見表(保存版)」を参考とし、内容を確認する。

活動1 「ごみの分別」に関心を持つ

1. ごみ袋や実物のごみで分別の説明を聞きました。
2. 画用紙、プロジェクターの画面で、16種類の分別名を見ました。



用意したもの

ごみ、ごみ袋
分別名記載画用紙
プロジェクター

活動2 地域による違いや経験を話す

いま住んでいる所や自分の国でごみはいつ、どうやって出すか、ごみ出しで困った経験などをグループで話し合い、発表しました。



用意したもの

ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- 分別は何ですか？
- そんなにたくさんある、知りませんでした。



こんな日本語を伝えました

- ごみを分けて出します。
- 分別は住んでいるところで違います。



次のことばを説明しました

ごみの分別・可燃ごみ・不燃ごみ
古着・ごみ袋・空きびん
空きかん・ペットボトル



学習者からこんな日本語ができました

- ごみの分別、したことがありません。
- ごみは道路の上に出します。
- 家の前に出します。
- アメリカ、大きいごみ箱。



次のことばを説明しました

ごみ置き場・すて場・資源ごみ
どうやって・毎週・赤い袋

活動3

写真を見て、ごみの話をする

ごみの集積所、資源回収やリサイクルボックスなどの写真を見て、わかることをグループで話し合い、発表しました。



用意したもの

ごみに関する写真
(各グループ配布)
プロジェクター

確認1

ふりかえりと次回の説明

1. ふりかえりシートに今日覚えたことば、文、感想を記入し、発表しました。
2. 次回、名古屋市環境学習センターにバスで出かけることについて、説明を聞きました。

10月22日予定表	
10:30	あいち国際プラザ日本語教室 出発 ↓ 大勢きます
10:44~53	市役所(バス代210円もらいます) ↓ バスに乗ります
10:58~11:07	白川公園前 ↓ 大勢きます
11:20	エコパル名古屋 ↓ 大勢きます
11:30	エコパル名古屋 英語さんのお話を聞きます 質疑 ふりかえりシート記入
12:15~13:00	休憩・昼食
13:00~13:40	パーソナルスタジオ
13:40	終わる

※バス代は、事前に申し込みが必要です。
※バス代は、事前に申し込みが必要です。
※バス代は、事前に申し込みが必要です。
※バス代は、事前に申し込みが必要です。

用意したもの

ふりかえりシート
22日の予定表

活動4

目的地まで移動する

バスの乗り方、車内でのマナーを学びながら、みんなで一緒に目的地に向かいました。



学習者からこんな日本語ができました

- びんは洗って、青い箱に分けて入れます。
- ふたをとります。袋に入れます。



こんな日本語を伝えました

- ここで何をしますか？
- 何が書いてありますか？
- 段ボールはひもで縛って出します。



次のことばを説明しました

- 洗う・資源回収・段ボール・新聞・紐で縛って・ふた・ラベル・青い箱



ここがポイント

初級から上級までが一緒にやるときのグループ分けは、国が同じ上級者が初級者をフォローできるグループ分けにするなど、工夫が必要ですね。⇒P.4



学習者からこんな日本語ができました

- ごみの分別わかりました。
- ごみの分別は大変です。
- ちょっとむずかしいけどおもしろい。
- これから分けます。



学習者からこんな日本語ができました

- 名鉄バス初めて乗りました。
- お金はどこで払いますか？



こんな日本語を伝えました

- 真ん中のドアから乗ります。
- 入口の整理券を取ってください。
- 降りる人に、道をあけてください。



ここがポイント

遅れてくる学習者もいるので、その場合の対応も考えておきましょう。

活動5

専門家の話を聞く

「ごみの処理と利用」について、名古屋市環境学習センターの方から話を聞きました。



確認2

ふいかえり

ふりかえりシートに今日覚えたことば、文、感想を記入しました。



用意したもの
ふりかえりシート

活動6

1・2回目の活動をふいかえる

前回の内容に補足する形で説明を加えつつ、学んだことを確認しました。



用意したもの
絵カード
資源・ごみ分別ガイド
プロジェクター
分別区分早見表



学習者からこんな日本語ができました

- 洋服をペットボトルで作ります。びっくりしました。
- フィリピンでばらばらなごみ出しました(分別をしてなかった)が、体(環境)のために良くなかった。日本いい国ですね。



次のことばを説明しました

発火性危険物・燃やす・埋める・リサイクル率・3R(リサイクル、リユース、リデュース)・粗大ごみ



ここがポイント

外部協力者との打合せは、しっかりしておく必要があります。⇒P.3



学習者からこんな日本語ができました

- ごみの分別はとても大事なことです。必ず別々でごみを出すつもりです。
- ごみ出しはむずかしい。



こんな日本語を伝えました

ごみの話、わかりましたか？



学習者からこんな日本語ができました

- 容器・3R・古着・古紙
- ラベルをはがす
- CDは煙が出る



こんな日本語を伝えました

- 発生抑制/ごみを減らす
- 再資源化(ごみの再生使用)



次のことばを説明しました

生活習慣・リサイクル率・灰・メタル・スラグ・車止め・再資源化・優先順位・廃棄物・減らす・カラス・発火性危険物・小型家電・乾電池

活動7

「ごみの分別」をやってみる

1. 「イラスト絵カード」を使って分別の疑似体験を行いました。
2. 物の名前を覚えると共に、分別について判断が難しい物については、ボランティアと一緒に分別ガイド等で確認しました。



用意したもの

分別区分早見表
資源・ごみ分別ガイド

活動8 分別に関するクイズで確認する

ごみの実物を見せつつ、問題を読み上げ、併せてスクリーンでも、文字として認識の上、3択で正しいと思うものに挙手しました。

第6問 CDはどのごみで出したらいいでしょうか。

- ① 不燃ごみ
- ② プラスチック製容器包装
- ③ 可燃ごみ



用意したもの

ごみの実物
プロジェクター



学習者からこんな日本語ができました

粗大ごみ・段ボール・紙パック

〇分別は不燃ごみなど、いろいろな種類がある。



こんな日本語を伝えました

リサイクルは再利用と同じ意味です。



次のことばを説明しました

プラスチック製容器包装・拠点回収



学習者からこんな日本語ができました

- 〇ヘッドフォンは小型家電？
- 〇トイレトーパー芯は資源ごみでしょうか？
- 〇CDとケースは別々に分別するのか？
- 〇ナイフの捨て方がわからない。



こんな日本語を伝えました

- 〇ジュースをこぼしたとき、ティッシュペーパーではなく布巾を使いましょう。
- 〇ごみを減らすには、まずごみを出さないように心がける。



次のことばを説明しました

牛乳パック・トレー・新聞紙箱・おむつ・プラマーク

活動を通しての感想を発表してもらい、ふりかえりシートに覚えたことばや文、思ったことを記入しました。



用意したもの

ふりかえりシート



学習者からこんな日本語ができました

- ごみを分けるのは大変ですけど頑張ります。
- 先週に勉強したことをまたやり直してくれて、忘れたことは思い出して、きっと覚えると思います。ここで勉強したことはとても意味があって、私はまた後輩に教えるつもりです。
- ごみを分別しようと思います。将来のために。
- 自分の国も守りたいと思います。



ここがポイント

ごみの分別について、実物・パンフレット・絵カード・クイズなどで何度も繰り返して学んだことが、分別の理解の定着にも、日本語の学習にも、とても効果的だったと思います。1日だけの学習者にも戸惑いなく参加できたのではないのでしょうか。

実践を終えて～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと

- 資料等の準備や、協力者や教室内の他のボランティアとの打合せ時間を確保するのが大変だった。
- 参加人数が多く、3回続けて出席された学習者もかなりいて、関心→理解→定着という積み重ねのプログラムを作ったかがあった。
- 3回目に、1回目と2回目の写真を見てふりかえりをしたのがとても良かった。
- 説明の時は少しずつ区切って質問の時間を取っておくと、理解できているかが確認しやすい。
- ボランティアからは入門～初級の人にはついていけない内容だという意見が多かったが、学習者の感想は面白かったというものが多かった。



大切だと思ったこと

- 協力者や、教室内の他のボランティアとの事前の打ち合わせ。
- 内容を簡単にしすぎず、日本人でも学べて楽しめる内容にする。
- 皆で出かけるなど、普通の教室ではない一体感があって、楽しく学習できた。

1 ごみの分別について学ぼう 活動案

テーマ/目標	「ごみの分別について学ぼう」/ ごみの分別を理解し、出来るようになる。		
テーマ決めの経緯	学習者の中からごみ出しの方法や分別の仕方が難しいという声があり、住民として生活に不可欠なテーマであると考え、ボランティア全員で協議の上、決定した。		
活動場所	あいち国際プラザ	名古屋市環境学習センター	あいち国際プラザ
協力者	—	名古屋市環境学習センター	—

1日目：10月15日(土) 10：30～12：00 (90分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動1 (10分) 日本の「ごみの分別」に関心を持つようにする。	ごみ袋 分別名カード	日本のごみの分別区分の種類の高さ、複雑さを知る。
活動2 (40分) 居住地や国で異なるごみの扱い、経験を話せるようにする。	ワークシート	各グループ、ボランティア主導でのワークシートの記入に続き、自己紹介、ワークシートの内容について話し合いをする。 ⇒代表を一人決め、発表する。
活動3 (20分) 「ごみの分別」について話ができるようにする。	語彙一覧 写真	普段、町の中で見かける「ごみの分別」に関する写真を見て、知っていること、わかることを話す。語彙のカードから新しい日本語を学ぶ。⇒各グループ代表1名が発表する。
確認1 (20分) ふりかえり	ふりかえりシート	1. ふりかえりシートへ記入する。 2. 次回の活動について話をする。 ⇒集合時間、注意事項等の説明を聞く。

2日目：10月22日(土) 10：30～12：30 (120分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動4 (110分) 専門家の話を聞き、一層の理解を深める。	—	名古屋市環境学習センター<エコパルなごや>を訪問し、 1. 専門家の話を聞く。 2. 展示品の見学および質疑応答。
確認2 (10分) ふりかえり	ふりかえりシート	現地にてふりかえりシートを記入する。(理解したことの確認) ⇒ 現地解散

3日目：10月29日(土) 10：30～12：00 (90分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動7 (40分) 「ごみの分別」をやってみる。	分別一覧表 絵カード ごみ袋	グループごとにルールに従って(パンフレット等から入手した情報に基づき)絵カードを使ってごみ分けの練習をゲームとして行う。
活動8 (15分) 学んだことをクイズで確認する。	番号札	ごみに関する簡単な3択クイズで楽しく復習する。
活動9 (10分) 質疑応答	—	3回の体験型学習を通して、住んでいる地域のごみ出しなどでわからないことや、疑問に思ったことを最後に行う。
確認3 (25分) ふりかえり	ふりかえりシート	1. ふりかえりシートへ記入する。 2. ごみの出し方や分別の必要性など理解できたか、また、新しく覚えた語彙や感想などを、一人ずつ発表する。

テーマ **ごみの分別について学ぼう!** あいち国際プラザにほん語教室・土曜日午前クラス



- 目標:**
- ①ごみの分別を理解する
 - ②地域のルールに従ったごみの出し方が実践できるようになる

学習者の声: ごみの分別はむずかしい袋の違いがわからない
「リサイクル」「プラスチック製容器包装」って何? ごみを分けるのは大変です

【クラス紹介&学習者状況】
場所:「あいち国際プラザ」2階 研修室
日時:土曜日 10:30~12:00
学習者:中国 4名 台湾 韓国 2名 日本 4名 合計 10名
※月曜日は月曜など23名参加(入門から初級前半と中級の方が多く、上級まで)※
※月曜:11名
ごみ分別について・・・
名古屋市長は近郊在住でごみの分別は複雑、難しい、分からない、家族任せ、経験や関心がない人も



1日目 日本のごみの分別・・・



ごみの分別、たくさんおぼえよう
ごみ箱を見えました

- 可燃ごみ 可燃性食品物 不燃ごみ
- 燃焼ごみ プラスチック製容器包装
- 紙製容器包装 ペットボトル 空きびん
- 空き缶 新聞 雑誌 紙パック 段ボール
- 資源 古物



たくさんあるね めんどくさい 分別って何ですか?

写真を見てごみの話をしよう



わかったことを発表しよう

ごみの分別わかりました
ごみの分別はたいへんです
これから分けます

ここで何をしますか?
ごみがあります
空きびんはあらって青いかごに入れます



2日目 名古屋市環境学習センター(エコバルなごや)に行って専門家の話を聞こう



資料をたくさんもらいました
写真や絵でよくわかりました

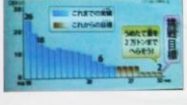


びっくり!
何とペットボトル5本で大人のTシャツが1枚できるそうです

目的:なぜ、ごみの分別をしなければならないのか
そして、業められたごみはどうなるのか、よくわかりました



平成32年には埋め立て容量を2トンまで減らすのが目標だそうです

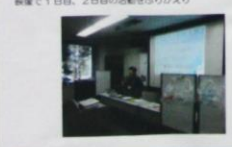


講師:高塚保夫先生からわかりやすい説明を頂きました

買えたことばおぼえたことお書きしました

リコーコースでは中国のAさんが質問への答えを頂きました

3日目 最後で1日目、2日目の活動からクイズ



「ごみ分別クイズ」答えは3択です

① 燃焼ごみ
② プラスチック製容器包装
③ 可燃ごみ



ごみ分別の大切さとは「発生抑制」と「3R」を覚えよう

リデュース Reduce
リユース Reuse
リサイクル Recycle

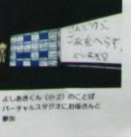
3R (スリーアール、さんアール)
Reduce リデュース 減らす (ごみの発生抑制)
Reuse リユース 繰り返し使う (再使用)
Recycle リサイクル 資源再生(ごみの再生利用)

「ごみ」も「資源」も
はじめから出さないようにすること
発生抑制



【リコーコースの感想】
くらので、自分の得意なチームとして「ごみの分別」をテーマに選べました。体験を通して学習者がごみ分別だけでなく、もたらすメリットを改めて学びました。特に、ごみ分別が、身近な生活から実践できることも多かったです。ごみの分別で体験をとおして自分たちでプログラムができた、授業も楽しく進んでいきました。たくさんのお話を聞けました。ありがとうございました。今後、この実践で得たものを教員の学びの中にも活かしていきたく思います。

「CO2はプラスチック袋に蓄えるごみ」?
資源物になったごみも有害



2. 母国にいる親しい人に 郵便物を送ろう

教室名 : 刈谷市国際交流協会日本語教室
 教室開催日 : 土曜日 19:00~20:30
 木曜日・日曜日 10:00~11:30
 学習者の国籍 : ベトナム、中国、フィリピン、ブラジル等
 レベル : 入門から初級
 目的別に「会話クラス・日本語検定クラス」

参加学習者 : 1日目5名、2日目1名、3日目1名 (ベトナム、中国、フィリピン)
 ボランティア : 1日目6名、2日目3名、3日目4名
 外部協力者 : 1日目2名、3日目4名 (刈谷郵便局窓口営業部)

学習者の状況

- 普段、母国の家族や友人との連絡は主に電子メール、電話を使っている。
- 母国と郵便物のやり取りをした経験がない。

学習者の声

- 日本に来てから年賀状等を出す機会はなかった。(知らなかった)
- 電子メールよりも、直筆の手紙やはがきをもらうほうが嬉しい。

目 標

母国にいる親しい人に郵便物を送ることができる。

活動の流れ

1日目：9月24日(土) 10:00~11:30 (90分)		
活動1	50分	国際郵便について学ぶ (出前講座)
活動2	10分	誰にどんな手紙を書くか決める
活動3	10分	各国の郵便ポストについて学ぶ
確認1	20分	今日学んだことをふりかえる
2日目：10月8日(土) 10:00~11:30 (90分)		
活動4	40分	絵はがきの書き方を学ぶ
活動5	20分	国際航空郵便について学ぶ
活動6	10分	小包を送るためのラベルを書く
確認2	20分	今日学んだことをふりかえる
3日目：10月29日(土) 10:30~12:30 (120分)		
活動7	10分	絵はがきを完成させる
活動8	80分	郵便局で国際郵便を送ってみる
活動9	10分	「季節の便り(年賀状等)」を学ぶ
確認3	20分	3日間の活動をふりかえる

事前の準備・下調べ

- 刈谷郵便局の土曜日の営業時間(郵便業務)の確認をする。
- 学習者への事前プレゼン(テーマへの興味をはかる)、参加者募集資料作成、募集をする。
- 刈谷郵便局との打合せを実施する。
- 実践活動に必要な資料の作成や使用するもの(はがき等)の準備をする。
- 実践開始前にプログラム参加希望登録者(19名)に対し、「直筆の案内はがき」を作成・郵送する。
- 1日目に参加した学習者に対して「お礼状」を作成し郵送する。(次回も参加するようお願い)

活動1

国際郵便について学ぶ

- 刈谷郵便局より国際郵便の種類や海外に郵便小包を送る際の注意事項の説明を受けました。
- 学習者から郵便局員に質問しました。



用意したもの

- 刈谷郵便局資料
- ・郵便の種類
 - ・国際郵便の書き方
 - ・小型包装物資料

活動2 誰にどんな手紙を書くか決める

通販で購入できる絵はがきを各自選択し、次回実習の時にはがきを送る相手と文面を考えました。



用意したもの

絵はがきカタログ

活動3 各国の郵便ポストについて学ぶ

各国の郵便ポストの色や形の違いについて、クイズ形式で楽しく学びました。



用意したもの

世界の郵便ポストの資料



学習者からこんな日本語ができました

- お菓子は送れますか？
- Wi-Fiのルーターを送ったことがあります。
- ベトナム語で宛て先を書いていいですか？
- EMSはどれだけ高いですか？



こんな日本語を伝えました

- はがきと封書、国内郵便と国際郵便の違いを覚えよう。
- 料金は重さで変わります。



次のことばを説明しました

工アメール・航空便・船便
絵はがき・小型包装物 = 「小包」



学習者からこんな日本語ができました

- ひとり何枚までですか？
- 富士山に登ったことがあります。



ここがポイント

きれいな絵はがきやシールで、日本の風景や文化にも触れることができました。



学習者からこんな日本語ができました

- どの国の郵便ポストかわかりませんでした。
- ベトナムでは、郵便物は郵便局に取りにいけます。



次のことばを説明しました

各国・郵送

確認1

今日学んだことをふりかえる

郵便局員の説明でわかったこと、難しかったことをシートに記入しました。

用意したもの

ふりかえりシート



学習者からこんな日本語ができました

危険物の種類がわかった。



こんな日本語を伝えました

早く確実に海外に荷物を送るには、国際スピード郵便（EMS）が有効です。ただし、料金は高いです。

活動4

絵はがきの書き方を学ぶ

1. 絵はがきの送り先と住所を確認しました。
2. テンプレートに差出人・宛て名・宛て先の住所を書く練習をしました。
3. 「富士山」「金閣寺」の絵はがきを選び、宛名書きを清書しました。



2016年10月8日(土曜日)

今日のテーマ
「あなたの大切な人に気持ちを伝える手紙を書きましょう！」

1. 自己紹介(学習者、ゲスト、見学者) 5分
2. グループで話し合おう。 5分
たれに絵はがきを書いて送りますか？
3. 「あて名書き」の練習をしましょう。 10分
4. 絵はがきに書くメッセージを伝えましょう。 10分
5. 注文した絵はがきを完成させましょう。 15分

休憩(5分)

6. 国際航空郵便の送り方を学びましょう。30分
送っていいもの、送ってはいけないものを分けましょう。
EMS(国際スピード郵便)のラベルを書きましょう。
7. 今日学習したことはやあ庭を復習しましょう。

ふりかえり(10分)



学習者からこんな日本語ができました

- (ベトナムには) 郵便番号はありません。
- 名前と住所は日本語で書くのですか？
- 兄の住所と郵便番号を調べます。



こんな日本語を伝えました

絵はがきの右半分に宛て名を、左半分にメッセージを書きましょう。



次のことばを説明しました

郵便番号・差出人・宛て先・宛て名



絵はがきは、全世界あて 70円(航空便で) 送ることができます。メッセージは あて名面の 左半分に 書き、右半分に あて先の 住所・氏名等を 記入します。

用意したもの

宛名書きサンプルテンプレート

活動5

国際航空郵便について学ぶ

国際航空郵便で送れない航空危険物、法的規制物品をクイズ形式で学習しました。



用意したもの

航空危険物・法的規制物品サンプル表



学習者からこんな日本語ができました

送ってよい物かわからないとき、上司に聞きます。



こんな日本語を伝えました

わからないことがあれば、郵便局員にも直接尋ねましょう。



次のことばを説明しました

航空危険物・アルコール類・火薬
植物の種・象牙

活動6 小包を送るためのラベルを書く

国際スピード郵便（EMS）のラベル書きを体験しました。



用意したもの

国際郵便EMSラベル

確認2 今日学んだことをふりかえる

わかったこと、難しかったことをシートに記入しました。



用意したもの

ふりかえりシート

活動7 絵はがきを完成させる

メッセージを書きこんだ絵はがきを完成させました。



用意したもの

予備の絵はがき



学習者からこんな日本語ができました

書くところが多くて難しい。



こんな日本語を伝えました

今日難しかったところは、来週郵便局の人に尋ねましょう。



次のことばを説明しました

ご依頼主・お届け先・価格・ご署名



学習者からこんな日本語ができました

- 漢字で住所が書けました。
- 宛名、小包ラベルが円滑に書けるようになりました。
- はがきのメッセージを書くのは、宿題にしました。
- 発音の難しいことばが多い。



こんな日本語を伝えました

航空危険物のほかにも、法律や国際的な規制で送ってはいけないものがあります。



学習者からこんな日本語ができました

お兄さんの住所が違っていました。
(活動4からの流れ)



次のことばを説明しました

書き直す・書き忘れる・書き間違える



こんな日本語を伝えました

赤字でAIR MAILと書くのを忘れないようにしましょう。

活動8 郵便局で国際郵便を送ってみる

1. 窓口で郵便局員に訊いて、切手を買いました。
2. 絵はがきに国内52円、ベトナム・インド向けに70円切手を貼りました。
3. 国内郵便を郵便局前に設置してあるポストに投函し、ベトナム・インド向けは郵便局窓口に出しました。



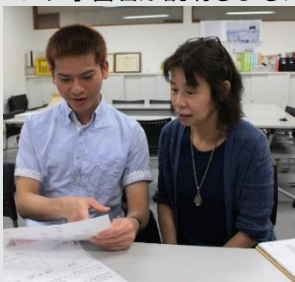
4. ベトナムに送るための国際郵便EMSラベルを郵便局員に訊きながら書きました。
5. 郵便局員の指導で、品名や価格、種別（贈り物）を英語で記入しました。（活動6でわからなかったところを聞きました。）



6. 「海外に送れる物・送れない物」のリストについて郵便局員に質問しました。



7. 郵便局で学んだことを、同行しなかったボランティアに、学習者が説明しました。



用意したもの

事前に書いた絵はがき包装した箱（小包を模擬）
活動5で使用した航空危険物法的規制物品サンプル表



学習者からこんな日本語ができました

- これを送りたいです。切手はいくらですか？
- インドとベトナムでお金は違いますか？



こんな日本語を伝えました

- 国内は52円で、ベトナムやインドは70円です。
- 領収証は必要ですか？



次のことばを説明しました

切手・ポスト・領収証



ここがポイント

ただはがきを書くだけでなく、本当に送って相手に届くことがうれしい体験になります。ただし、一般利用客の迷惑とならない場所や時間帯を選ぶことも大切です。



学習者からこんな日本語ができました

- 内容品、価格、種別の書き方を教えてください。
- これを送るといくらかかりますか？
- 宝石は送れますか？
- 香水はなぜ送れませんか？



こんな日本語を伝えました

- 内容品は、英語か母国語で書いてください。
- 宝石は保険が掛けられる200万円まで送ることができます。わからないことがあったら何でも、郵便局の人に訊いてください。



次のことばを説明しました

インボイス・保証・保険・贈り物
身の回り品・アルコール類・危険物
象牙・ダイヤモンド



ここがポイント

事前に郵便局を訪れ、活動の趣旨を理解してもらっていたので、局員の方々が協力的でした。



学習者からこんな日本語ができました

危険なものやアルコールが入っているものは海外に送れません。

活動9 「季節の便り(年賀状等)」を学ぶ

日本の習慣になっている、年賀状等の季節の便りの種類と、それらをいつ出せばよいのかを学びました。



用意したもの

はがきによる「季節の便り」(資料)

確認3 3日間の実践活動をふりかえる

お菓子を食べながら、3日間の学習を思い出し、覚えたことと、難しかったことを話し合いました。



学習者からこんな日本語ができました

年賀状を出してみたい。



こんな日本語を伝えました

はがきの上に「郵便はがき「postcard」と書いていないと、大きさに関係なく料金が手紙扱いとされます。



次のことばを説明しました

年賀状・暑中見舞い・案内状・お礼状



学習者からこんな日本語ができました

○外国に送れるものがわかりました。
○日本で絵はがきを書くのは横書きと縦書きがある。



こんな日本語を伝えました

帰国のとき、荷物を何で送りますか？



次のことばを説明しました

保険をかける

実践を終えて～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと

- 通常の日本語教室と異なる日時に実施計画したため、突然欠席者が出た場合、リカバリーが難しいことを改めて認識した。
- 事前準備は周到に行うべきだが、実践では学習者の理解の歩調に合わせて活動内容の絞り込みが必要。
- 円滑にプログラムを進行するには、ある程度日本語力のある学習者の援助が必要。
- 同プログラムに参加するには、ある程度、日本語力がある学習者(初級2レベル)を対象にした方がよい。(参加人数が多いと、進行に支障が生じ本人も楽しさが半減する。)
- 日本語初級の場合は、事前学習会で郵便用語や授受表現の予習・復習が必要。
- 学習者を飽きさせない「ゲーム」的な要素や自由会話を折り込むとよい。
- 郵便局のような営業時間内での実習では、少人数での実践の方が効果的である。
- 今回は、最終日、学習者が1名であったため郵便局員との質疑応答を含め十分な交流時間が持てた。
- 行動体験型の授業は、実践的で有効な場合もあるが、運営上難しい面(学習者のニーズと合致するかどうか、日本語の基礎がない学習者は全くついていけない等)と、準備を含め、ボランティアに非常に大きな負担がかかるため、実際に教室で運用するにはかなり工夫が必要と考える。
- ふりかえりには、お菓子やお茶を飲みながら和やかな雰囲気で行った方が本音が出やすい。



大切だと思ったこと

- 参加者募集の段階で、テーマにかける思い、学習者にとっての嬉しさを伝える工夫が必要。
- 学習者の負担も考え、通常の日本語教室の開催時間に合わせて実践活動を行うことが理想。
- 日本語力の低い学習者と話をする際は、言葉を割り込ませることなく、相手が話し始めるまで辛抱強く待つことが重要である事を再認識。

2 母国にいる親しい人に郵便物を送ろう 活動案

テーマ/目標	郵便物を送る/母国に郵便物を送ることができる		
テーマ決めの経緯	学習者から、海外に郵送する際、戸惑ったという声があったので、郵便局の利用方法を学び、日常的に郵便物を送れるようになる必要があると考え、このテーマを選定した。		
活動場所	刈谷市民交流センター	刈谷市民交流センター	刈谷郵便局 刈谷市民交流センター
協力者	刈谷郵便局	—	刈谷郵便局

1日目：9月24日(土) 10：00～11：30 (90分)

活動のねらい (時間)	準備・教材	活動方法 (対話と協働)
活動1 (15分) 活動の流れを理解する 自己紹介	スケジュール表	3日間の活動の流れを説明し、自己紹介しあう。
活動2 (30分) 郵便局の概要を理解する	—	1. 郵便局員から郵便局でできること、サービス概要、郵便局を利用するに当たって注意すべき事項(あれば)の説明を受ける。 2. 質疑応答。
活動3(確認) (30分) 郵便局専門用語、ステップを理解する	資料	1. 本日の郵便局員説明でわかったこと、難しかったことの確認をする。 2. 郵便局で使われる専門用語、絵はがきを投函するに至るまでのステップ(手順)を理解し、実践活動に向かって心情的準備を行い、はがき・手紙に書く原稿を考えるように促す。
活動4 (7分) 絵はがきを選択する	絵はがきサンプル	絵はがきの選択肢を示して、各自好みのものを決める。(2日目までに準備する)
確認1 (8分) 本日の活動を振り返る	—	本日の説明で分かったこと、難しかったことを振り返る。

2日目：10月8日(土) 10：00～11：30 (90分)

活動のねらい (時間)	準備・教材	活動方法 (対話と協働)
活動5 (35分) 練習用の下書きを作る	便箋・はがき	「あて名」「あて先(住所)」「差出人住所」「郵便番号」が正しく書けるように練習し、メッセージの原稿の下書きをする。
活動6 (35分) 素材を工夫してはがきや手紙を清書する	写真・シール 筆記用具 その他	1日目で選んだ絵はがきをベースに個性的な仕上がりになるようイラスト、シール、写真等を使って加工し、お便りを清書する。
確認2 (20分) 覚えたことばを使って発表する	カメラ	完成に近い作品を各自披露し、参加者から意見を募る。学習者とボランティアは、清書したはがきや手紙を披露し、完成度を高めるためのアイデアをお互いに募る。

3日目：10月15日(土) 10：00～12：00 (120分)

活動のねらい (時間)	準備・教材	活動方法 (対話と協働)
活動7 (70分) 郵便局で絵はがきを投函する	絵はがき 小包	1. 局員とのやりとりを経て絵はがきを投函する。(学習者) 2. 同行するボランティア(アテンド)は学習者の発話、局員とのやりとりを記録する。 3. ボランティアは、学習者の行動を見守るが、学習者からの質問には答える。
活動8 (20分) 学習者とボランティアによる振り返り	—	できたこと、わかったこと(新しく覚えた言葉含め)、難しかったことを学習者同士で話し合う。 (事前に、お菓子を準備するなどして話しやすい環境を整える)
確認3 (30分) 振り返り (ボランティア&見学者)	—	当プログラム全体を振り返り、できたこと、できなかったこと、今後のやるべきことを話し合う。

母国にいる親しい人に郵便物を送ろう

KIFAV日本語支援グループ

私たちの教室はこんなところ

場所：刈谷市国際フーズ
 時間：木曜日 10:00 - 11:30
 土曜日 19:00 - 20:30
 日曜日 10:00 - 11:30

学習者の現状

・普段は母国の家族や友人とは電子メールでやり取りしており、手書きの手紙を出したことはない
 ・電子メールよりも、手書きの手紙をもらう方が嬉しいと思う

目標

・海外に郵便物が送ることができる
 ・郵便局で分からないことを尋ねられる

1日目

郵便局の人から話を聞きました

- 1 全体の流れを説明しました
- 2 郵便局の人から話を聞きました

はがきや小包の出し方... 出し方にもいろいろあるね
 小包で出してもいいもの、いけないものがある！
 化粧品はだめなの？！

- 3 実際出す絵はがきを選びました



2日目

はがきの宛名や小包のラベルの書き方を練習しました。
 小包で送れるもの、送れないもののクイズで復習しました。

- 1 宛名書きの練習をして、絵はがきの書き方を学びました
- 2 国際航空郵便で送れるもの、送れないものを仕分けるクイズをしました
- 3 国際郵便で小包を送るためのラベル(EMS)を書く練習をする



3日目

郵便局に行って、絵はがきと小包を出しました

- 1 郵便局窓口で航空郵便の出し方を尋ね、絵はがきを投函しました

これを送りたいです。切手はいくらですか？
 イントとハトナムでお金は違いますか？



内容品、価格、種別の書き方を教えてください。

- 2 局員に聴き、模擬小包を海外に送るラベルの書き方等手続きを体験しました



- 3 国際郵便で送れるもの、送れないもの理由を郵便局員から学び、それを他の人に説明しました

- 4 はがきによる「季節の便り(年賀状等)」の種類と出すタイミングを学びました



実践を終えて

- ◆ 今回、参加してくれた学習者が2、3日目には一人になってしまい、寂しい感じとなりました。今回、郵便局の都合に合わせて通常の教室と違う時間に実施したことが原因の一つ。
- ◆ 反面、学習者が少ないが故にじっくりやれた。学習者が回を追うごとに積極的になり、最終的には郵便局員に聞いたことを他の人に説明できるまでになった。学習者の進歩を感じ、大変うれしかった。

今後の課題

- ◆ 今回、行動体験型を学んでみて、通常の教室に活かすには議論と工夫が必要と感じた。
 - ・準備が非常に大変
 - ・教室全体の協力が必要
 - ・日本語のベースが全くない人には苦痛なのでは

3. 食品表示の見方を学ぼう

教室名 : あいち国際プラザにほん語教室
 教室開催日 : 土曜日 14:00 ~ 15:30
 学習者の国籍 : 中国、韓国、台湾、ベトナム、
 フィリピン、ペルー等
 レベル : 入門から上級まで様々

参加学習者 : 15名 (中国、ペルー、韓国、ベトナム、カナダ、バングラデシュ等)
 ボランティア : 10名
 外部協力者 : 2名 (愛知県健康福祉部保健医療局生活衛生課食の安全・安心グループ)

学習者の状況

- 仕事で来た人。結婚して同行した人。言葉の勉強の為。その他種々
- 日本で自炊をしている人
- 全部外食の人、主婦をしている人等種々

学習者の声

- スーパーで買い物をする。
- あまり買い物をしない。
- 表示は関心が無かった。
等

目 標

食品の表示を理解して、
買い物の時に役立てる
ようになる。

活動の流れ

1日目：10月1日(土) 14:00~15:30 (90分)		
活動1	10分	表示って何？
活動2	60分	表示の正しい見方を学ぶ
確認1	20分	グループでふりかえり
2日目：10月8日(土) 14:00~15:30 (90分)		
活動3	10分	買物で失敗したこと、ありますか？
活動4	60分	食品の空容器で体験
活動5	10分	母国の表示について話す
確認2	10分	ふりかえり
3日目：10月22日(土) 14:00~15:30 (90分)		
活動6	30分	クイズで復習
活動7	50分	発表に向けたグループワーク
活動8	10分	グループ発表

事前の準備・下調べ

- 「行動・体験型活動」はクラス全体で取り組むことを確認する。
- 愛知県生活衛生課食の安全・安心グループに、県政お届け講座を依頼する。まだ日本語が初級の外国人にも理解できるような内容で、話し方をやさしくしてもらう。
- 活動の中で実際に買い物には行かないので、色々な種類の食品の空容器を集める。
- 安全な食生活を送るために、知っておくとよい漢字とその意味を、体験を通してどう伝えるか考える。

活動1

表示って何？

食品には、色々な表示が書いてあることを学びました。



用意したもの

カメラ
ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

自国にも同様の表示がある。



次のことばを説明しました

開封・表面・裏面・加熱・召し上がる・炒める・腐る・湿る・落花生

活動2

表示の正しい見方を学ぶ

パワーポイントを見ながら、表示の正しい見方に関する講義を聞きました。



学習者からこんな日本語ができました

パッケージのImportant。
(表示が重要だということ)



こんな日本語を伝えました

買物に行く前に今日の日付を確認しておき、お店で商品を見て、いつまで保存できるか確認できるといいですね。



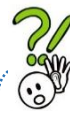
次のことばを説明しました

賞味期限・消費期限・いくら・くるみ・アレルギー・やまいも・まつたけ・製造日・加工日

確認1

グループでふりかえり

今日学んだことをふりかえり、感想をグループで話し合いました。



学習者からこんな日本語ができました

- むずかしい。
- 知らないことが多かった。情報はいっぱい。



次のことばを説明しました

- 常温・室温・炒める・蒸す
- 直射・生産地

活動3

買物で失敗したこと、ありますか？

1. 買い物で失敗したことがあるかどうか話しました。
2. コーディネーターが自分の失敗を例として話しました。



活動4

食品の空容器で体験

1. ボランティアと一緒に、賞味期限・消費期限の文字がどこに書かれているかを、机の上に用意した食品の空容器で確認しました。
2. 保存方法やアレルギーの表示がどこにあるかを確認しました。



用意したもの
食品の空容器
おにぎり



学習者からこんな日本語ができました

- 秋鮭・粒より小餅・パン・直射日光
- 高温多湿を避けて保存する。
- 牛乳は見る。
- 卵も見る。23日と18日があったら23日のにする。
- 色々なパッケージがあって楽しかった。



こんな日本語を伝えました

- 保存方法には色々ある。
- 「香り」と「臭い」は違う。



次のことばを説明しました

- 紙・プラスチック・缶
- 冷凍保存できるもの



ここがポイント

自分でも、家で日頃すぐに確かめられる、身近な内容ですね。

活動5

母国の表示について話す

1. 母国の食品表示を知っている人は、書きました。
2. そのことをボランティアに話しました。



確認2

ふいかえい

今日のわからなかったことなどを話しました。

活動6

クイズで復習

1. 身近な絵表示を使った5問クイズをしました。(オリンピック、禁煙、エレベーター、トヨタ自動車、マタニティマークのクイズで、表示に関するアイズブレイク)
2. 賞味期限と消費期限のクイズをしました。
3. 冷蔵庫のイラストを貼って、保存方法はどこ?のクイズをしました。



用意したもの
クイズ用の資料



学習者からこんな日本語ができました

- 韓国は流通期間・保存方法がある。
- ベトナムには消費期限がある。
- 授業はとても役に立った。バングラデシュにも同様の表示がある。
- 半分しかわからない。
- 買物に大事なことを習って良かった。



こんな日本語を伝えました

食品表示は母国と基本的には同じだと思うが、細かい違いはある。



学習者からこんな日本語ができました

この日までに食べる。



こんな日本語を伝えました

期限内でも自分の目・鼻・舌で確かめる。



次のことばを説明しました

エレベーター・禁煙・
マタニティマーク・オリンピック・
トヨタ自動車

活動7 発表に向けたグループワーク

食品を買う時にどんなことが大切かをふりかえり、大事なこと、わかったことを付箋に書き、発表用紙に貼ってまとめました。

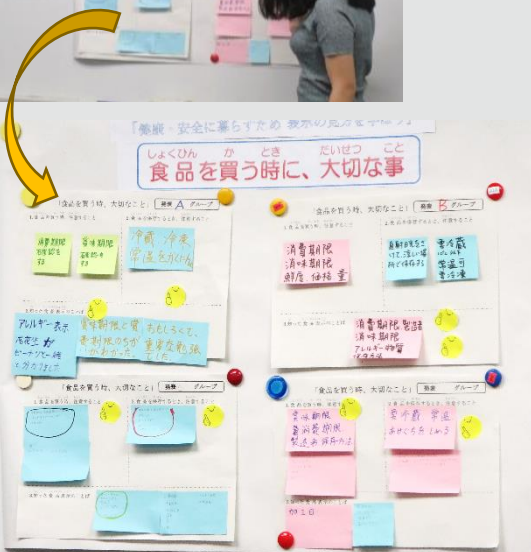


用意したもの
ふりかえりシート

活動8

グループ発表

1. グループ毎に学習者が前に出て、書いた内容を発表しました。
2. 最後に、発表を聞いた学習者が自分もそうだと思うことに「賛成」シールをつけました。



学習者からこんな日本語ができました

- アレルギー物質を見る。
- 食品を買う時は、賞味期限・消費期限・保存方法・加工日を見る。
- お母さん、蟹アレルギー
- 表示をこれからはちゃんと見る。
- 正しい食品のしまう方法



こんな日本語を伝えました

体調によっても症状があったり、無かったりする。



次のことばを説明しました

10℃以下・生産地



こんな日本語を伝えました

発表する事が日本語上達の最上方法。



次のことばを説明しました

ドライ・高温多湿・冷凍・室温・値段
加工日・要冷蔵・10℃以下・添加物



ここがポイント

「賛成」シールを貼るという作業をするよう伝えることで、他の人の発表を一生懸命聞けますね。

実践を終えて～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと

- 学習者の話す能力が違うので、全員に興味をもってもらうのは、なかなか難しいと思う。
- 大体の学習者が、賞味期限・消費期限・保存方法の言葉と意味を理解してくれたと思う。
- ボランティアとしては、言葉の充分でない学習者にどのようにその主旨を説明するか、身振り手振りで、少し困りました。
- 学習者の「日本の表示は信じられる」との感想が嬉しい。
- 日付を一番先に見て、確認するようになった。
- この研修は時間を長くしても（半日コースなど）1回で完結する形にした方が、やり易いと思った。



大切だと思ったこと

- 相当な心の準備と、内容に対する理解と表現力が必要。
- 講座の進行役より、ボランティアの各グループでのフォローが大切。今回はボランティア全員が積極的に参加してくれた。
- 書くこと、行動すること、発表（発言）することが、重要！！

3 食品表示の見方を学ぼう 活動案

テーマ/目標	健康・安全に暮すために、表示やラベルの見方を学び、生活に役立てるようにする。		
テーマ決めの経緯	生鮮食品・加工食品や飲料水には、様々な表示やラベルが付いている。日本で暮らす外国人にとってそれらの表示の正しい見方を知ることは、健康で安全に暮らす為に重要であると、テーマに採り上げた。この研修を通して、表示を理解するのに必要な日本語の意味を正しく学ぶことを、ねらいとした。		
活動場所	あいち国際プラザ	あいち国際プラザ	あいち国際プラザ
協力者	愛知県生活衛生課 食の安全・安心グループ	—	—

1日目：10月1日(土) 14:00~15:30 (90分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動1 (10分) 「表示って何?」	資料 カメラ(記録用) ワークシート	学習者とボランティアに、 1. 品物には色々な表示が書いてあることを、知っている? 2. ふりかえりシートの使い方の説明 3. ワークシートに名前を記入する。
活動2 (60分) 県政お届け講座 (県生活衛生課)	—	毎日の食生活の安全・安心のために、食品を購入する時、その食品に付いている、ラベル・マーク・表示内容等を正しく読んでいるか、確認出来ているか等、パワーポイントを見ながら、正しい見方を学ぶ。
確認1 (20分) 「表示を知っていた?」	—	1. 出前講座を聞いて、グループで、感想など話し合う。 2. 今まで買い物をする時、賞味期限等の日付表示を見ていたか。 3. 分かったこと、分からなかったこと等、ワークシートに書く。

2日目：10月15日(土) 14:00~15:30 (90分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動3 (10分) 「母国の表示?」	カメラ(記録用)	1. 学習者の母国の表示の様子をグループ毎に話し合う。 2. 母国の表示で知っていることをワークシートに書く。
活動4 (10分) 「買い物で失敗したことある?」	ワークシート	グループ毎に話し合う。ワークシートに書く。 1. 日本で、買い物で困ったこと。 2. 日本で、買い物で失敗したこと。
活動5 (60分) 「空容器を使って、3つの言葉を見つけよう」	空容器	机の上にある様々な空容器を使って ①賞味期限(消費期限) ②保存方法 ③原材料名の3点の見方を練習して、見方を確認する。
確認2 (10分) 「空容器を使った体験から気付いたこと」	—	表示には何が書かれているか、分かったこと、分からなかったこと等、ワークシートに書く。

3日目：10月22日(土) 14:00~15:30 (90分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動5 (10分) 「マーク・表示クイズ」	パネル マグネット	コーディネーターが、黒板にマークや言葉のパネルを見せて、学習者に答えを当てさせるクイズ(10問)
活動6 (10分) 「消費期限と賞味期限とは?」	パネル	クイズの中に出てきた消費期限と賞味期限の、言葉の持つ意味の違いを、クイズ形式で取り組む。
活動7 (10分) 「保存方法とは?」	パネル	保存方法の違いをクイズで当てさせる。 (要冷蔵・要冷凍・常温)
活動8 (40分) ふりかえり 安全・安心な食生活のために、食品を買う時大切な事を気付かせる。	写真(2日目の様子)・模造紙のり・付箋用紙 マジックペン	食品を買う時に、どんなことが大切なのかをふりかえる。 1. 食品を買う時、商品の何を見るか。 2. 大事なこと、分かったことを付箋に記入する。 3. A3用紙に貼って、皆でまとめる。
確認3 (20分) グループ発表(分かったこと発表)	賛成シール	1. グループ毎に学習者が前に出て、発表する。 2. 発表した用紙を模造紙に貼る。 3. ボランティアと一緒に、発表したポスターを見て、良いと思った言葉に「賛成」シールを貼る。

健康・安全に暮らす為に

食品表示を学ぼう



あいち国際プラザにほん語教室
土曜日午後クラス
場所：あいち国際プラザ2F
学習者：名古屋及びその近郊で生活する外国人
参加者：15名
ボランティア：10名

テーマを決めた経緯

生鮮食品・加工食品には、様々な表示が付いている。日本で暮らす外国人にとって、それらの表示の正しい見方をすることは、健康で安全に暮らす為に、重要であるテーマに挙げた。この研修を通して、表示を理解するのに必要な日本語の意味を正しく学ぶことを、ねらいとした。

第1日目「食品表示って何？」

出前講座



見て！知って！ 食品表示の基本

外部協力者：2名
愛知県 生活衛生課
食の安全・安心グループ

- パワーポイントを使って説明を聞く。
- 講義の資料を見ながらグループで話し合った。
- 「むつかしい」「知らない言葉が多かった。」
- 「情報がいっぱいあった」

第2日目「空容器を使って、賞味期限・消費期限・保存方法をみつけよう」

行動・体験学習

- 色々な空容器を見ながら、覚えた3つの言葉がどこに書かれているか確認をする。
- 空容器で気付いたことなどを話し合う。
- 保存方法に色々あることを学んだ。



食品保存場所

冷蔵室	
ようれいどう 要冷蔵	5℃以下
	10℃以下
野菜室	
冷凍室	
ようれいどう 要冷凍	-15℃以下
	-18℃以下
じょうおん 常温	

第3日目「食品を買う時に大切な事」

クイズで3つの表示を整理



- 2日間で学んだ事を3つのクイズで（表示クイズ・賞味期限・消費期限クイズ・保存方法クイズ）思いだし、整理しながら、言葉を整った。
- 「まとめ」をグループごとに作成し、発表した。

まとめ・ふりかえり



学習者の感想

- 色々なパッケージがあって、楽しかった。
- 買い物に大事なことを習ってよかった。
- 正しい食品のしまい方を知った。
- 日本の表示は信じられる。
- 日付を一番先に見て、確認するようになった。

ボランティアの感想

- 期限内でも自分の目・鼻・舌で確かめる。
- 発表することが日本語上達の最上方法。
- ある程度日本語が理解できていないと、難しい、楽しくない。
- ボランティアとしては、言葉の充てない学習者に如何にその主旨を説明するのに、身振り手振りで、少し困りました。



4. 自転車のルールを知ろう

教室名：江南市国際交流協会「ワイワイ日本語教室」

教室開催日：月・金 10：30～11：30

月～金 13：00～14：00

学習者の国籍：ベトナム、フィリピン、中国 等

レベル：初心者から中級者まで

参加学習者：5～10名（ベトナム、フィリピン、中国、モンゴル、ブラジル等）

ボランティア：3名

外部協力者：3名（江南警察署、江南自動車学校）

学習者の状況

- 普段自転車に乗っているが、日本の交通ルールは知らない。
- 自転車に乗る機会がない人もいる。（歩行者または車）

学習者の声

- 日本の交通ルールを知らない。
- 自転車の新しいルールって？

目 標

日本の自転車のルールを知り、正しく安全に乗ることができる。

活動の流れ

1日目：10月21日(金) 10：00～11：30 (90分)		
活動1	20分	自転車の事故の動画を見る
活動2	40分	自転車クイズでルールを学ぶ
確認1	30分	今日学んだことをふりかえる
2日目：10月23日(日) 10：00～12：00 (120分)		
活動3	90分	自転車講習会で話を聞く
確認2	30分	今日学んだことをふりかえる
3日目：10月28日(金) 10：00～11：40 (100分)		
活動4	10分	ことばをふりかえる
活動5	50分	道路標識を見て回る
活動6	30分	グループで感想を伝え合う
確認3	10分	今日学んだことをふりかえる

事前の準備・下調べ

- 日本の自転車のルールをボランティアが学習し、自転車のルールのイラストを準備する。
- 教室周辺の道路標識を下調べする。
- ワークシートなどの資料を作成する。
- 自転車事故の動画を準備する。
- 自動車学校講師と打合せをする。

活動1 自転車の事故の動画を見る

自転車vs車の事故、自転車vs歩行者の事故の動画を見て、感想を言いました。



交通安全教育DVD「保護者編」chapter1

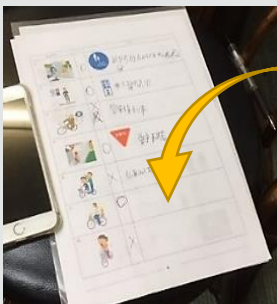


用意したもの

交通事故の動画

活動2 自転車クイズでルールを学ぶ

1. イラストのクイズを見て、正しいかどうか○×を付け、なぜそう思ったか発表しました。
2. その後解説を聞いて、正しいルールを知りました。



用意したもの

自転車ルールのクイズ
(パワーポイントとイラスト)

ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- 怖かった。 ○あぶない。
- 気をつけないと(感謝料を)払わないといけなない。



こんな日本語を伝えました

自転車と自動車は同じ仲間です。
(自転車も車両(軽車両)のひとつで、危険も伴うということ)



次のことばを説明しました

賠償金



学習者からこんな日本語ができました

- ベトナムでは3人で乗る、いいです。
- 中国と違う。
- その看板、自転車と歩行者一緒に使います。



こんな日本語を伝えました

- お酒、2人乗り、傘はダメです。
- 左側を通ってください。



次のことばを説明しました

合羽・ヘルメット



ここがポイント

- 日本語がまだあまりわからない学習者には、母語が同じ学習者が、フォローしました。
- 文字が少なくイラストが多いワークシートは、初心者の学習者もストレスなく参加できますね。

確認1 今日学んだことをふりかえる

ワークシートに記入後、一人ずつ、今日の感想を言いました。



用意したもの

ワークシート

活動3 自転車講習会で話を聞く

江南市国際交流協会主催の自転車講習会に参加し、警察官、自動車学校の講師の話を楽しみました。



用意したもの

自転車の5つのルール紙
(各国語で)



学習者からこんな日本語ができました



- 自分は自転車に乗るので気を付けたい。
- 人の生活にとって大切なことだと思います。
- 歩行者に気を付ける。
- カップ、私はやらないからこれからやります。
- 自転車も罰金あります。



次のことばを説明しました

警察



学習者からこんな日本語ができました



- 難しい。
- 60%わかりました。
- 自動車などわかるが、他の漢字わからない。
- 歩いているとき、音楽を聞きます。どうですか。



こんな日本語を伝えました

夜はライトをつけます。



次のことばを説明しました

シミュレーター・反射剤・左側通行・歩行者優先・標識



ここがポイント

地域の日本人、普段教室に来ていない外国人も一緒に学びました。講習会の後はボランティアの皆さんが用意した軽食やお茶を飲んで和みました。普段から学校や地域と協力関係を築き、居心地のよい教室とすることが大切です。

確認2

今日学んだことをふいかえる

ワークシートに記入後、一人ずつ、今日の感想を言いました。



用意したもの

ワークシート

活動4

ことばをふいかえる

前回までに学んだ、テーマに関することばをふりかえました。



活動5

道路標識を見て回る

ふくらの家の周囲にある道路標識を、実際に歩いて見て回りました。



用意したもの

道路標識の写真（雨天時用にパワーポイントも）
ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- ヘルメット・反射剤・止まれ・飲酒
- 夜はライトつけます。
- 踏切歩いてというの、知らなかった。
- 踏切渡るとき、右左を見て、自転車を押して渡る。



学習者からこんな日本語ができました

- この標識は何ですか。
- ここは自転車大丈夫です。
- 中国では小さいバイク(原付)は大丈夫
- これは？美容室？



こんな日本語を伝えました

- 自転車の道はここで終わります。
- ここは自動車は入れません。
- これは床屋です。



次のことばを説明しました

軽車両は除く・自転車専用・一方通行



ここがポイント

- 街を歩くと、普段、日本人も見落としている標識に気づくことができます。
- 街歩きの途中で、店の看板を見て話したりすることで、住んでいる地域について知ることもできました。
- 学んだことを実際に検証する活動は、まさに「行動・体験型」ですね。

活動6

グループで感想を伝え合う

これまで学習した内容をふり返り、普段の自分の乗り方、母国との違い等について発表しました。



確認3

今日学んだことをふりかえる

ワークシートに記入後、一人ずつ、今日の感想を言いました。



用意したもの

ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- 自転車と歩行者この道いいです。
- 道に店たくさんあります。
- ワンウェイです。
- ブラジルでは自転車少ない。
- 事故に遭ったことがあります。



こんな日本語を伝えました

自転車専用の道です。



こんなことばを説明しました

原付・横断歩道



学習者からこんな日本語ができました

これから交通ルール守ります。



ここがポイント

行動・体験型の活動を「今回だけのイベント」として終わらせずに、いろんな形で繋げていけるといいですね。例えばこの教室では、次のように繋がっていきましました。

- 今回学んだ内容を、後で家族や友だちに伝えた学習者がいました。
 - ・中国の男の子（日本に来たばかり）：お母さんに自転車の話をした。お母さんは、いつも自転車に乗っているから。
 - ・ベトナムの女性：ご主人と道を歩いているときに、標識を見ながら、勉強したことについて話をした。
 - ・別のベトナムの女性：ご主人と自転車の話をした。ご主人から別の交通ルールも教えてもらった。
- 今回参加できなかった学習者のうち、普段自転車に乗っている方達へ、同じ教材を使って、同じ活動をしました。

実践を終えて～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと

- 日本語ゼロの学習者にはどうしてもマンツーマンに近い形をとらざるを得ない（イラストを多用し視覚から理解してもらおうと試みたが）。媒介語にも頼ってしまう。そうでなければ、内容を理解してもらえない。日本語も覚えてほしいので、難しい…。
- 外部講師に依頼する時は、事前打ち合わせが必須。（「小学校低学年向けに話すような感じで」とお願いした）



ここがポイント

専門的過ぎることばを使わないようにという趣旨で「小学校低学年」という依頼をしたと思いますが、「地域で使われている日本語を学ぶ」という意味では、子ども向けのことばにしすぎない方がいいかもしれません。⇒P.3



大切だと思ったこと

- ふりかえり（確認作業）をすることにより、学習者が再確認したり、理解できたりする。
- 学習者間でのコミュニケーション。一緒に勉強して楽しい！という雰囲気を作ることができる。
- 活動の中で、日本語で発言できるような工夫が必要。



ここがポイント

この教室では、若いボランティアが活躍しています。次世代のボランティアを育てることは日本語教室の課題です。

4 自転車のルールを知ろう 活動案

テーマ/目標	自転車のルールを知る/自転車に安全に乗ることができる		
テーマ決めの経緯	今年の春、自動車対自転車の事故が発生した。そこで、これを機会に法改正後の自転車のルールを理解してもらう。また、安全に自転車に乗るために標識や路面のマーク、それに付いている日本語を見て分かるようにすることをねらいとした。		
活動場所	ふくらの家	布袋北部地区学習等供用施設	ふくらの家
協力者	—	江南自動車学校、江南警察署	—

1日目：10月21日(金) 10:00~11:30 (90分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動1 (30分) 「自転車は軽車両」を知る	事故の動画	自転車の乗り方を知らないと起こりうる交通事故についての動画を鑑賞 ・メモを取りながら視聴。 ・内容が理解できたか? 自転車=車が理解できたか?
活動2 (40分) 自転車のルールを知る	クイズシート 絵カード	クイズ形式で自転車の交通ルールについて問題を出す(学習者同士orボランティアと話し合いながら)
確認1 (20分) ふりかえり	ふりかえりシート	何が分かったか、分からなかったか、覚えた言葉、感想

2日目：10月23日(日) 10:00~12:20 (140分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動3 (120分) 自転車の安全な乗り方を知る	—	江南自動車学校と江南警察署の方より、自転車の安全な乗り方について講演してもらう ・学習者は、メモを取りながら講演を聞く。 ・学習者とボランティアは予めペアを組み、学習者をフォロー。
確認2 (20分) ふりかえり	ふりかえりシート	何が分かったか、分からなかったか、覚えた言葉、感想 ・昼食(交流会)の前に、シートに記入。

3日目：10月28日(金) 10:00~11:30 (90分)		
活動のねらい(時間)	準備・教材	活動方法(対話と協働)
活動4 (50分) 道路標識や路面マークを見て分かるようになる	道路標識や路面マークの写真 クイズシート	1. 実際に近所を回り、標識やマークを見て確認する。 2. 教室に戻り、クイズ&簡単な説明。
確認3 (40分) ふりかえり	ふりかえりシート	この活動で学んだことを話し合う、感想

自転車のルールを知ろう

江南市国際交流協会ふくらの家

★テーマを決めた背景

小学生が自動車と事故 ⇨ 自転車も悪いた
改正されたルールを知らない人が多い!!



★対象

ワイワイ日本語の生徒 ( バトナム,  モンゴル,  フリピン,  中国 etc)

1 このまでに覚えた言葉

日
目



事故の動画



9000
円!?

〇Xクイズ



中国は
自転車
右!!

2
日
目

自転車講習会 (講師: 江南警察署の方・自動車学校の方)

シミュレーション体験



わからん!

むずかしい!!

バトナム
3人乗り
OK

3
日
目

散歩しながら標識の意味を学ぶ

標識とは?

散歩

ふりかえり&対話(グループ別)



この標識は
何ですか?



この標識は
自転車だけの
標識か
ない



バトナムは
道に居たこ
道に居たこ
道に居たこ
道に居たこ
道に居たこ

★学習者の感想

- ・友だちや家族に今回学んだことを話した
- ・これから気をつけようと思う
- ・これから交通ルールを守りましょ etc

★ボランティアの感想

- ・学習者にとって、日本語もルールも学べる良い機会だった
- ・皆楽しく勉強できたのが良かった

★今後の課題

- ・日本語ゼロの人に対してどんな工夫ができるか
- ・対話をもっと取り入れたい

5.人を助ける

教室名 : あかさたな日本語教室
教室開催日 : 木曜日 10:30~12:00
学習者の国籍 : オーストラリア、アメリカ、韓国 等
レベル : 初級後半から中級まで

参加学習者 : 6名 (オーストラリア1名、アメリカ2名、韓国2名、台湾1名)
ボランティア : 5名
外部協力者 : 3名 (中消防署)

学習者の状況

- 国でも日本でも、救急車を呼んだ経験はない。
- 救急車を呼ぶときに、電話で119番を押すことを知らない。
- 一人だけ、母国でAED講習を受講した経験がある。
- ほとんどの人は、心肺蘇生をしたことも、AEDを使ったこともない。

学習者の声

- AEDの使い方を知りたい。
- 119番通報をしても、日本語でやりとりができない。

目 標

心肺蘇生ができるようになる。

活動の流れ

1日目: 9月29日(木) 10:30~12:00 (90分)		
活動1	30分	救急車をどんな時に呼ぶか考える
活動2	20分	救急車を呼べる
活動3	10分	救急車が来るまでに何ができるか考える
確認1	30分	今日学んだことをふりかえる
2日目: 10月6日(木) 10:30~12:30 (120分)		
活動4	90分	AEDと心肺蘇生講習を受講する
確認2	30分	今日学んだことをふりかえる
3日目: 10月13日(木) 10:30~12:00 (90分)		
活動5	30分	3日間をふりかえる
活動6	30分	学習したことは何かを整理する
活動7	15分	学んだことを人に伝える
確認3	15分	今日学んだことをふりかえる

事前の準備・下調べ

- 中消防署へ出向き、担当者と打合せをする。その際、DVDを借り、ボランティアが各自視聴する。
- 昭和消防署内の応急手当研修センターでの講習を、事前にボランティア4人で受講する。

活動1 救急車をどんな時に呼ぶか考える

1. 救急車をどんな時に呼ぶか、ペンで付箋紙に書き、B4用紙に貼りました。
2. B4用紙に貼ったものを一人ずつ発表しました。



用意したもの

大きめの付箋紙、ペン、
B4用紙



学習者からこんな日本語ができました

救急車って何ですか。



次のことばを説明しました

- 意識がありません。
- 救急車
- 骨が折れました。
- 頭をぶつけました。
- 食べ物がつまる。

活動2

救急車を呼べる

1. 救急車を呼ぶとき、何番に電話をするのか確認しました。
2. 119番通報をした際に聞かれる内容を予想しました。
3. ボランティアが吹き込んだ音声を聞いて、確認しました。
4. 119番のオペレーターにどのように答えるか、ペンで付箋紙に書きました。



用意したもの

119番のオペレーターを模した音声、オペレーターのイラスト、大きめの付箋紙、ペン



学習者からこんな日本語ができました

どんな時に119番をしますか。



こんな日本語を伝えました

119番にかけるのは、火事と救急車のときです。



次のことばを説明しました

通報・火事

活動3 救急車が来るまでに何ができるか考える

119番通報をした後、何ができるか、話し合いました。

用意したもの

心肺蘇生・AED
のイラスト

確認1 今日学んだことをふりかえる

1. 新しく覚えた言葉や難しかった言葉を紙に書きました。
2. 質疑応答をしました。



用意したもの

ふりかえりシート

活動4 AEDと心肺蘇生講習を受講する

1. 緊急救命の一連の流れがわかるDVDを見ながら、消防署員の話听取了。
2. 人形を使って、心肺蘇生・AEDの体験をしました。



用意したもの

マイク
パンフレット
パソコン

確認2 今日学んだことをふりかえる

ふりかえりシートに今日覚えた言葉、文、感想を記入しました。



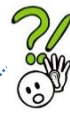
学習者からこんな日本語ができました

触ってはいけない時はどんな時ですか。



次のことばを説明しました

- ひざ・むち打ち
- 蜂に刺される
- 意識がない



学習者からこんな日本語ができました

- 不要って何ですか。
- 継続って何ですか。



こんな日本語を伝えました

- 要らないという意味です。
- 続けてくださいという意味です。



次のことばを説明しました

- 胸骨圧迫
- 大丈夫ですか？
- 離れてください。



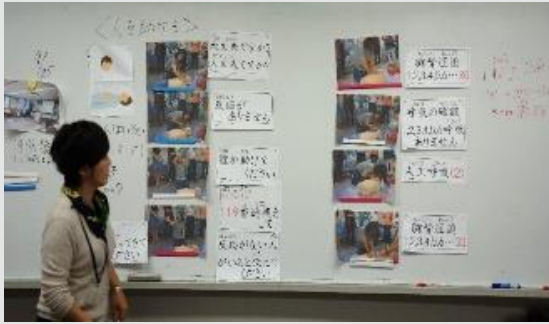
ここがポイント

学習者の中のムードメーカーになる人を上手く活用し、楽しく学ぶことができました。様々な学習者の個性を活かせるといいですね。

活動5

3日間をふりかえる

1. 先週の活動の写真を使い、手順を確認しました。
2. AEDの音声、心肺蘇生時の呼びかけや他の人とのやりとりなどの日本語を確認しました。



用意したもの

心肺蘇生・AEDのイラスト
先週の活動の写真

活動6 学習したことは何かを整理する

学んだ中で伝えたいことを、ポスターにまとめました。



用意したもの

はさみ、のり
先週の活動の写真
模造紙、ペン



学習者からこんな日本語ができました

水気って何ですか。



次のことばを説明しました

反応・交代・電源・装着・点滅
接続・心電図・解析中



ここがポイント

写真などを見ながらふりかえりをする
ことで、前回休んだ人も内容を理解
できるように配慮することが大切です。



学習者からこんな日本語ができました

心肺蘇生の階段（順番）がわかった。



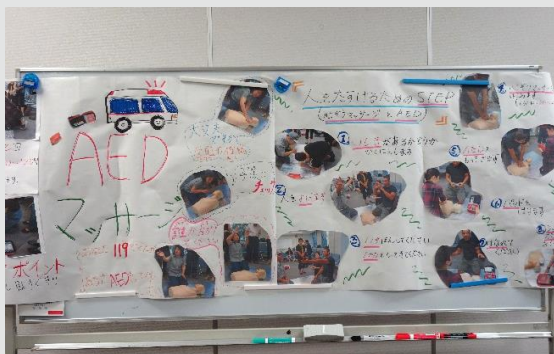
ここがポイント

ポスターをつくるという作業をみんな
ですると、書くことが苦手な学習者も、
教えてもらいながら、書いてみるきっ
かけになります。

活動7

学んだことを人に伝える

他のクラスの学習者・ボランティアの前で、ポスター発表をしました。



確認3 今日学んだことをふいかえる

1. 新しく覚えたことばや難しかったことばを紙に書きました。
2. 質疑応答をしました。



用意したもの

ふりかえりシート



学習者からこんな日本語ができました

- この方法を知らなかったです。
- ちゃんとやらないとムダになりますよね。
- (AEDや心肺蘇生を行うと、)この人は大丈夫になります。



ここがポイント

学んだことを他の人に日本語で伝えることは緊張しますが、難しい言葉も何回も口にする事で定着します。



学習者からこんな日本語ができました

貼り薬はなんですか？

実践を終えて～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと

- 消防署員との質疑応答の時間をもう少し設ければよかったと思う。
- 積極的に学習者が参加していて、よかったと思う。
- 学習者が漢字をたくさん書いていて驚いた。
- 時間配分に配慮をした方がいい。
- 学習者とボランティアの配置（座る位置）に配慮をした方がいい。
- ボランティア内の意思疎通がもっと必要だった。
- 意見交換、質疑応答の時間は、学習者にとってとても役立つことだと思った。



大切だと思ったこと

- 関わるボランティア全員で、活動目的や内容、役割などの事前打ち合わせをしっかりとすること。
- 消防署員との事前打ち合わせを密にし、説明の内容を絞り込んでもらうこと。

5 人を助ける 活動案

テーマ/目標	人を助ける/心肺蘇生ができるようになる		
テーマ決めの経緯	家族と自分の命を助けなければならない場面で、慌てず、冷静に対応できるよう必要な日本語を知る必要があると考え、教室のスタッフミーティングで決定した。		
活動場所	あいち国際プラザ	あいち国際プラザ	あいち国際プラザ
協力者	—	中消防署	—

1日目：9月29日(木) 10：30～12：00 (90分)

活動のねらい (時間)	準備・教材	活動方法 (対話と協働)
活動1 (30分) 救急車をどんな時に呼ぶのかを考える	症状や人体のイラスト・カード	1. 今どこか悪いところがあるか。 2. 救急車を呼んだ体験談を話し合う。何をしたか。 3. 救急車を呼ぶのはどんな時か。
活動2 (20分) 救急車を呼べる	119番の音声	1. 119番の人からの質問を聞き、シミュレーションする。 2. よく使う単語は何か。
活動3 (10分) 救急車が来るまでに何ができるのかを考える	AEDの写真 心肺蘇生の写真 またはイラスト	1. 意見を言ってもらおう。 2. 何が正しいかは次週確認。
確認1 (30分) ふりかえり	ふりかえりシート	ふりかえりシートにわかったこと、わからなかったことを記入し、発表する。

2日目：10月6日(木) 10：30～12：30 (120分)

活動のねらい (時間)	準備・教材	活動方法 (対話と協働)
活動4 (40分) AEDと心肺蘇生講習を受ける	パソコン スクリーン マイク 見学者用資料 ワークシート	1. 緊急救命の一連の流れがわかるDVDを見ながら、消防署員の話聞く。 2. デモンストレーションしていただいたあと、人形を使って実際に体験する。
確認2 (30分) ふりかえり	ふりかえりシート	ふりかえりシートにわかったこと、わからなかったことを記入し、発表する。

3日目：10月13日(木) 10：30～12：30 (120分)

活動のねらい (時間)	準備・教材	活動方法 (対話と協働)
活動5 (30分) 2日間のふりかえり	心肺蘇生の写真 ワークシート	1. 心肺蘇生の写真を使い、並べ替えクイズで手順確認。 2. 119番通報の復習。 3. 体験してわかったこと、わからなかったこと、感想を発表。
活動6 (60分) 学習したことは何か整理する	講習会の時の写真 画用紙	ポスター作り。
活動7 (15分) 他の人にわかったことを伝える	—	ポスター発表。(他クラスの学習者に)
確認3 (15分) ふりかえり	ふりかえりシート	ふりかえりシートにわかったこと、わからなかったことを記入し、発表する。

テーマ：人を助ける

テーマを決めた経緯：

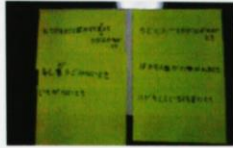
家族と自分の命を助けなければならぬ場面では、慌てず、冷静に対応できるような日本語を知る必要があると考え、このテーマに決めました。

ALOE日本語教室あかさたな

- ・教室開催日：毎週木曜日 10:30～12:00
- ・場所：あいち国際プラザ

1日目 救急車をどんな時に呼ぶか考える

救急車をどんな時に呼ぶか、ハンで付箋紙に書き、発表しました。



- ・119番通報をした際に聞かれる内容を予想し、ボランティアが吹き込んだ音声聞いて確認しました。



- ・119番のオペレーターにどのように答えるのか、ハンで付箋紙に書き、ボランティアとペア練習しました。

2日目 AEDと心肺蘇生講習を受講する

中消防署から3名の消防署員が来てくださいました。

- ・緊急救命の一連の流れがわかるDVDを見ながら、消防署員の話の聞きました。
- ・人形を使って、心肺蘇生・AEDの体験をしました。



3日目 3日間の振り返り

- ・前回の活動の写真を使い、手順を振り返りました。
- ・AEDの音声、心肺蘇生時の呼びかけや他の人とのやりとりの日本語を確認しました。



ポスターを作り、発表しました。



学習者の声

- ・119番通報の仕方がわかった。
- ・生活にすぐ役に立つと思います。
- ・救急の時のいろいろな言葉を習うことができました。

活動を終えて

- ・協力者に依頼する際に公的機関を通さなかったため、協力者に強くお願いができなかった。
- ・この研修に参加したボランティアが、今後教室でどのように実践していくかが課題である。